

今日、皆さんを島根県の教職員として迎えました。心からお祝い申し上げます。

皆さんは、これから「島根の将来を担う人材の育成」という、大変重要な仕事に携わるのであります。

島根では少子高齢化が進んでおります。こうした中であっても、「活力ある島根」を実現することが県の最も大事な課題であります。

我々は、この難しい課題に挑戦する力のある若者を育てていかなければなりません。

他方、子供たちを取り巻く環境は、近年大きく変化し、非常に厳しい状況となっております。

まず、核家族化が進行しています。そして、ネットなどによる刺激の強い情報が氾濫しています。また、子供を保護する役割を果たしていた地域社会が大きく変化しています。

かつてのように、「放っておいても、子供はひとりでに育つ」といった考えは、とても持てない状況になっています。

そうした中では、子供たち自身が、社会や人との関係の中で、自分で考え、行動して、様々な問題に対応する力、解決する力、まさに「生きる力」を身に付けなければなりません。

そのためには、子供たちの健全な育成に学校、家庭、地域の三者が連携し、社会全体として取り組むことが必要であります。

その中でも、学校における教育が、家庭や地域から信頼されるものでなければ、この三者の連携・協力はうまくいきません。教職員一人ひとりが真摯な姿勢、強い情熱、そして温かい愛情をもって子供と接することが不可欠です。

そのためにも、教職員は学校の中の仕事だけでなく、可能な限り地域の人々との交流にも努めていただきたいと思います。

そうすることによって、子供たち、保護者、そして地域社会からの理解と信頼を得ることができるものと思います。

現在、教育委員会は、子供たちの「ふるまい向上」を推進しております。皆さんが教職員として、また、一人の大人として、子供たちの手本となるような「あいさつ」や「ふるまい」をし、思いやりのある行動や言葉づかいを心がけていくことは、極めて大事なことであります。

新しく教員になられた皆さんには、教員としての誇りと自覚を持って子供たちと向かいあい、一人ひとりの子供とのふれあいを大切にされながら、自己研鑽を積まれるようお願いいたします。

これからの、皆さんの活躍を祈念いたしまして、私からの激励の言葉といたします。